

この度はデジタルインプットインターフェースHVXT05をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取付ける前にこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

■本機的主要な特徴

- ・純正モニターにHDMIでスマートフォン、Amazon Fire TV Stickなどの映像を入力できます。
- ・音声は車両スピーカーから出力されます。
- ・HDMIの入力にiPhoneなどを接続すればYouTubeなどを映すことができます。
- ・映像に対して音声の遅延がありません。
- ・純正ナビなどの機能はそのまま使用できます。
- ・独自の制御方法により、純正機器との切替えがシームレスに行えます。

■注意事項

- ・映像機器接続用のHDMIケーブルは付属しません。
- ・本機のUSB端子は給電用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。
- ・電源投入時やHDMIケーブル挿抜時などポップ音(ボツ音)がする場合がありますが、故障ではありません。
- ・ステアリングスイッチで接続機器の操作はできません。
- ・HDMI入力映像を視聴中は、情報画面(交通情報やETC料金案内等)などは割込み表示されません。
- ・iPhoneなどを接続した場合、アプリによって別途通信/パケットを消費することがあります。
- ・掲載されている商標・ロゴ・商号等に関する権利は、弊社又は個人の権利所有者に帰属します。詳しくは弊社ホームページをご参照ください。

■仕様

寸法:W100×H23×D109(mm) 質量:170g(本体のみ)
USB端子:5V/2.4A(急速充電対応) HDMI端子:タイプA

■同梱品

HVX本体、車両接続用ハーネス、GVIFケーブル(2種類)、両面テープ、ウレタンシート、
HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)、USB延長ケーブル(オス-メス 2m)、取扱説明書(保証書)

■お取付け上の注意事項

- ※運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。
 - ※パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。
 - ※水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと。
- ※この製品の不当な取扱による不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了解ください。

▲ 取付作業を行う前のご注意

- ※車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- ※取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。

- ※作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。
(純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

製品について
のお問い合わせ窓口



▶ WEBお問い合わせフォーム [24時間受付]
<http://contact.beatsonic.co.jp/>

適合車種	車両型式	適合年式	純正装備
クラウン 220系	GWS224/AZSH20 AZSH21/ARS220	H30/06-R02/11	T-Connect SDナビゲーションシステム+ トヨタプレミアムサウンドシステム(16スピーカー)
			T-Connect SDナビゲーションシステム+ クラウン・スーパーライブサウンドシステム(10スピーカー)

① 同梱品一覧



■HVX本体

■車両接続用ハーネス

車両側カプラー、純正モニター、
純正デッキとHVX本体を接続します。

■GVIFケーブル(2本)

車両側カプラー、純正モニター、HVX本体を接続します。

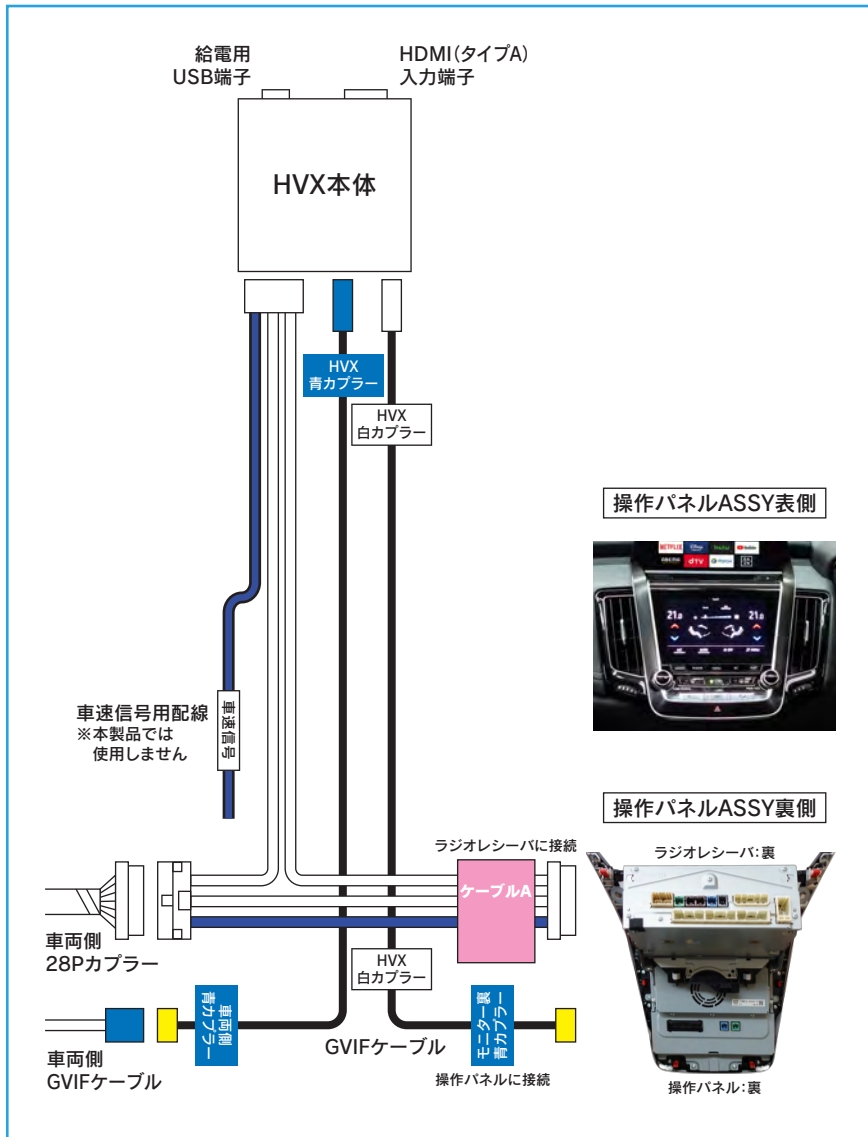
■HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)

■USB延長ケーブル(オス-メス 2m)

※掲載製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

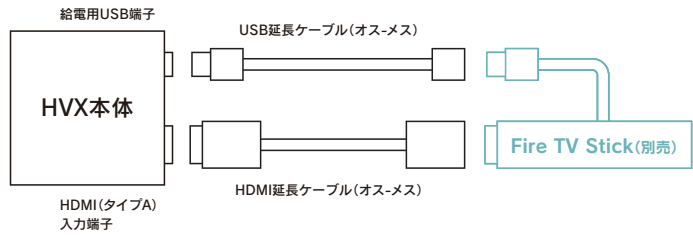
② 各配線及び機器との接続例

■配線図 「HVXの取付け」は下図参照



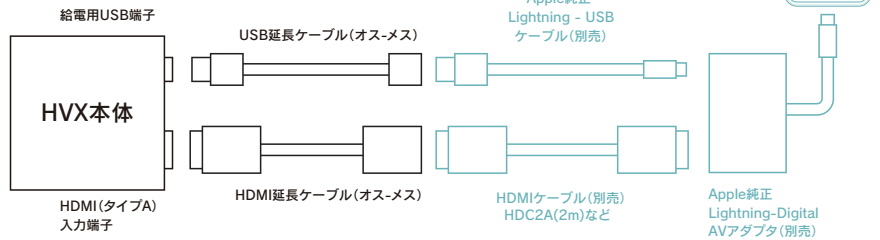
【接続例1:Amazon Fire TV Stickの場合】

— 付属品 — 別売品



【接続例2:iPhoneミラーリングの場合】

※ミラーリングできるアプリなどは、Apple純正 Lightning-Digital AVアダプタに準じます。



■入力映像(HDMI)について

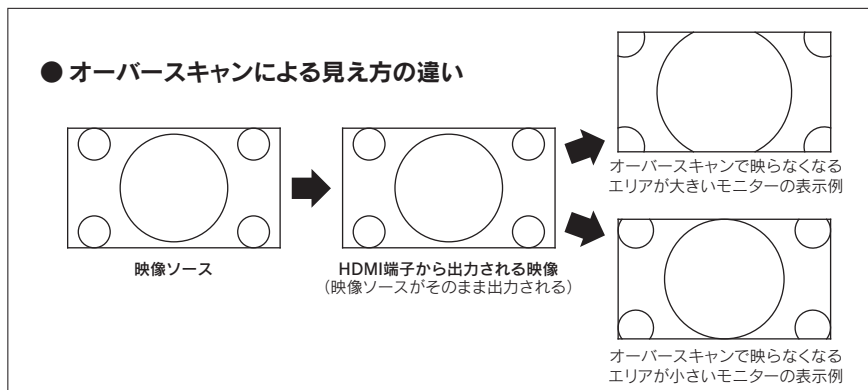
入力するHDMI機器または映像ソースにより、画面の四隅が切れたり画面端に黒枠が表示されたり、また映像が縦長に表示されることがあります。これは解像度や表示エリア、アスペクト比等が原因で起こる現象であり、各機器の故障ではありません。以下の説明をご覧ください、接続するソース側の機器や映像ソースをお確かめください。

【対応できるHDMIの解像度】

フォーマット名	解像度	アスペクト比	リフレッシュレート
1080p	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz
1080i	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz
720p	1280×720	16:9	60Hz / 59.94Hz
480p	720×480	16:9	60Hz / 59.94Hz

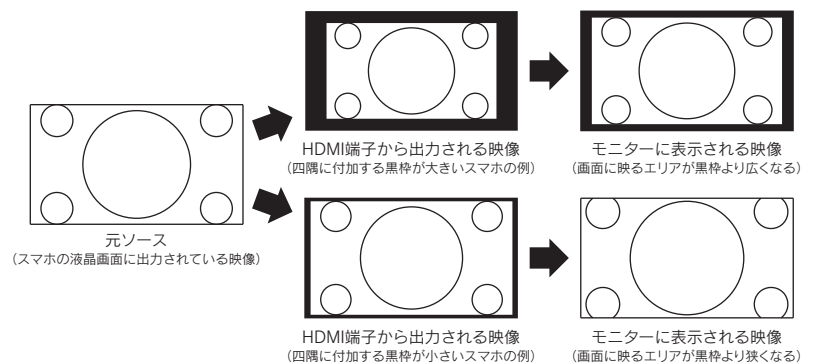
【表示エリアについて】

本製品のオーバースキャンは95%で設計されています。オーバースキャンとは、画面端の歪みやノイズを隠す為に、画面の四隅をカットする表示方法です。通常、映像ソースはオーバースキャンによって映像の四隅がカットされることを想定し、字幕などの重要な情報はカットされない範囲に収めるように作成されます。これに限らない映像ソースを視聴している場合は、オーバースキャンによりカットされてしまう範囲に配置された情報がカットされて表示されます。



ソース側の機器のオーバースキャンが95%より大きい場合や、アンダースキャン信号を入力した場合は、画面の端の映像が切れて表示されます。また、95%より小さい場合は、画面の端に黒枠などが表示される場合があります。ソース側の機器にオーバースキャンの設定がある場合は、オーバースキャンを95%に設定してください。

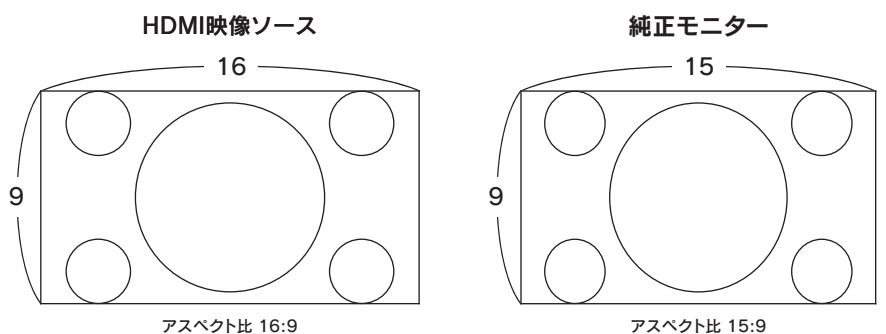
● スマートフォンが付加する黒枠の大きさによる見え方の違い



スマートフォン等の映像ソースにはあらかじめ四隅に黒枠が付け加えられて出力されることがあります。付け加えられる黒枠の大きさはスマートフォンの機種によってそれぞれ異なるため、モニターに表示されたとき、「黒枠が見える」もしくは「少しカットされた映像」になります。

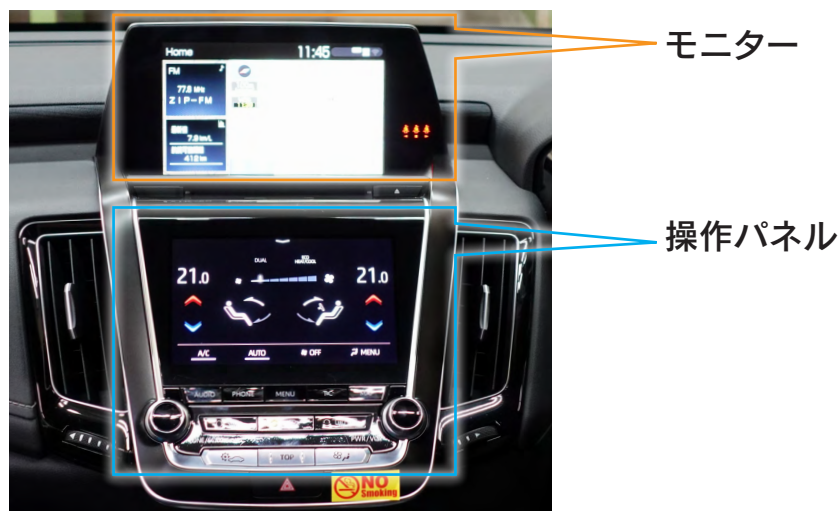
【画面の縦横比について】

純正モニターのアスペクト比が15:9のため、16:9の映像ソースを入力した場合は若干縦長に表示されます。アスペクト比とは縦と横の比率のことで、ここでは画面の縦と横のサイズの比率のことをアスペクト比と呼びます。本製品は、16:9の映像ソースを純正モニターの15:9に合わせて表示させるよう設計されているため、若干縦長の表示になります。



Beat-Sonic® HDMI入力の切替え

■モニターおよび操作パネル



■HDMI入力映像に切替える方法

A. オーディオソースがAUX以外のとき



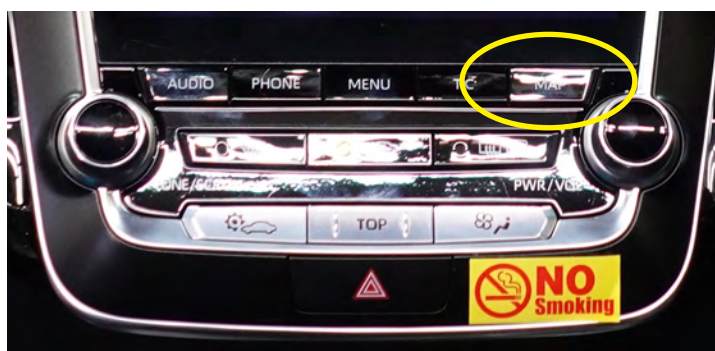
B. オーディオソースがAUXのとき

操作パネル下部分の「TOP」ボタンを押すと、交互に切替わります。



地図画面で地図の表示を現在地から移動させた後、現在地の状態に戻するためには操作パネル下部分の「MAP」ボタンを2回押してください。(1回押すとHDMI入力の画面になります)

※この操作はオーディオソースが「AUX」を選択されているときのみ必要です。

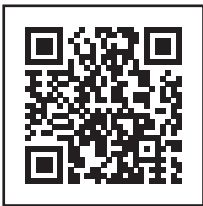


注意事項

- ・HVXT05で入力した映像は、モニターに表示されます。操作パネルがエアコンの操作画面に切替わる時間は純正の設定時間に準じます。
- ・HDMI入力映像を視聴中は、情報画面(交通情報やETC料金案内等)などは割込み表示されません。
- ・HVXで入力した映像の画質調整はできません。

Beat-Sonic® クラウン220系への取付方法

A 車両パーツの取外し



純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。

URL: http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=HVXT05_t3

B HVXの取付け

1. 通線

純正パネルの取外し方法は、「A 車両パーツの取外し」をご覧ください。
HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します。
外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。
配線については「②各配線及び機器との接続例」をご覧ください。

<ケーブルの通線位置例>

- ・「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」は「グローブボックス裏からグローブボックス内」に通線します。ケーブルの先端はグローブボックス内に出してください。
※ケーブルをグローブボックス内に通すためには、グローブボックス内のパネルカバーに切加工が必要です。ケーブルは切加工した箇所からグローブボックス内に出してください。
参照: A 車両パーツの取外し「純正デッキ/モニター/グローブボックス取外し手順」
- ・「車両接続用ハーネス(ケーブルA)」は「配線図」のように「グローブボックス裏からラジオレシーバASSY裏」に通線します。
- ・「GVIFケーブル」は「配線図」のように「グローブボックス裏からモニター裏」に通線します。
- ・「車速信号線(青色)」は使用しませんので、本体付近にひとつにまとめて置いてください。

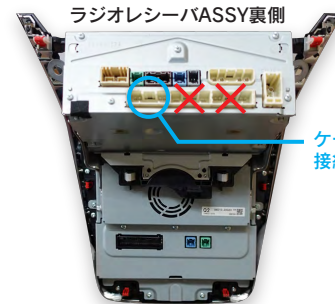


2. 車速信号線の接続

本製品では車速信号線は使用しません。
誤動作防止のため本製品の「車速信号」の配線には何も接続しないでください

3. ケーブルAの接続

ラジオレシーバASSYの28ピンコネクタを抜き、付属の車両接続用ハーネス(ケーブルA)を間に割り込ませるように取付けます。(別紙「配線図」参照)



ケーブルAを接続するコネクタ



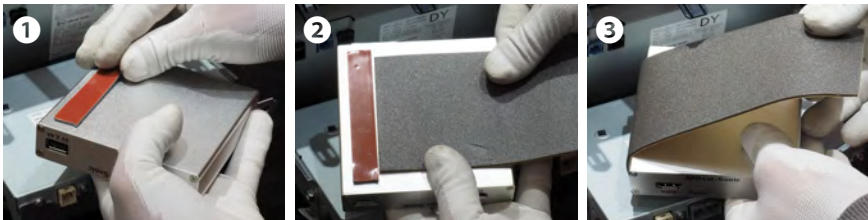
付属の車両接続用ハーネスの28ピンを取付け、他のコネクタは全て元に戻します。

接続するコネクタに注意してください!

ケーブルAのコネクタは、3つ並んだコネクタのどれでも接続ができてしまいます。
間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するコネクタには十分ご注意ください。

4. HVX本体の養生

- 1 付属の両面テープをHVX本体裏側に貼付けます。(本体の固定位置に合わせて貼付け位置を調整します。)
- 2 付属のウレタンシートを両面テープを目安にして貼付けます。
- 3 本体ケースの周りを1周巻きます。(ウレタンシートの余りはカットします。)



5. HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。
純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を避け、適宜養生をして設置してください。

<HVX本体設置の推奨位置>

グローブボックス裏(右端)にHVX本体を設置します。



6. GVIFケーブルの接続

- ・付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの間に割り込ませるように接続します。
(別紙「配線図」参照)
- ・モニター裏の青コネクタとHVX本体(Output)、車両側コネクタとHVX本体(Input)を接続します。
※GVIFコネクタはケーブルに貼られているラベルの指示に従って取付けを行ってください。
※緑色GVIFコネクタはHVXの取付けに使用しません。純正のコネクタを接続してください。



GVIFコネクタ

- ・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。
- ・HVXの取付けに関連のない純正のコネクタを、全て元に戻します。

7. 純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

8. 動作確認

1. マルチディスプレイを地図画面にしてモニター上に地図が出ることを確認してください。
→地図画面が出ないときはHVX本体～モニター間のGVIFケーブルが奥までしっかりと接続されているか確認してください。
2. マルチディスプレイのソースを[AUX]にしてマルチディスプレイに入力した映像、スピーカーからは入力した音が出ていることを確認してください
→青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。